
大湾区情報 No. 22

グレーターベイエリア情報 発行：2021年10月12日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【香港政府が「ビジネス環境レポート」発表：香港には無限のチャンスあり】



「香港ビジネス環境レポート：独自の強みと無限のチャンス」(Report on Hong Kong's Business Environment)が9月27日に香港政府より発表され、香港のビジネス環境は極めて良好であり、更なる発展のチャンスが多く存在していることを示しました。財務長官のポール・チャン（陳茂波）氏によると、当レポートは香

港の強みとチャンスを示し、香港に対する外部からのイメージに対し、客観的な事実をもって説明し、正確な理解を求めるものとなっています。

香港の発展やビジネス環境について、外部からの誤解や偏見がまだまだあることを踏まえ、香港政府は国際社会に対して、具体的なデータや客観的な事実を通じて、香港の強みや将来の発展の可能性を説明する必要があると考え、外国の投資家に香港の状況を正しく把握してもらうよう、積極的に香港をアピールしていく必要があると述べました。

当レポートでは、香港国家安全法の施行後においても、香港の金融市場は安定を保っており、為替レート連動システムや様々な金融市場セグメントがうまく機能しており、香港ドル市場は純資本流入を記録し、銀行システムは健全性を維持しており、自己資本規制比率と不良債権比率は健全なレベルを維持していることが述べられています。

2021年6月末時点の銀行総預金残高は前年同期比約8%増加の15兆香港ドルを超え、外貨準備金は10.5%増の3.8兆香港ドルとなっています。昨年7月の香港国家安全法が施行後の1年間において香港で新たに調達された株式資本の額は5,000億香港ドルを超え、同法施行前の12ヶ月間に比べて50%以上増加しました。

また、資産、ウェルス・マネジメントビジネスでは、昨年末時点の香港における管理資産は、前年同期比21%増の約35兆香港ドルとなり、増加分の約3分の1は純流入によるものでした。

香港の「一国二制度」をはじめとして、コモン・ロー制度、クリーンで効率的な政府、シンプルで低い税制、安定した金融システム、モノ・資本・人材・情報の自由な流れ、公平な競争環境、整備されたインフラとデジタル設備、豊富な人材、国際社会との連動、安全かつ都市と郊外が融合した質の高い大都会の生活環境等の香港固有の強みは損なわれていません。

ポール・チャン財務長官は、「『一国二制度』のもと、香港は中国内の他の都市とは異なる経済システムを確立しており、超国際的な大都市となっています。香港での新型コロナウイルス感染状況が安定した今、香港は今後も世界へのゲートウェイ、「スーパーコネクター」、高付加価値サービスのプラットフォーム、国際的な人材バンクや資本プール機能、そして国際的なビジネスの場として好まれる存在であり続けるでしょう。」と述べました。

また、中国第14次5カ年計画では、香港の発展の位置づけを明確にし、国際金融、海運、貿易、及びアジア太平洋地域における国際的な法律・紛争解決サービスの4つの伝統的な中心地としての地位を高めるとともに、国際航空ハブ、技術革新・テクノロジーの国際的センター、知的財産権取引の地域センター、中国と海外の文化・芸術交流センターなど4つの新興分野の構築・発展を支援するとしています。

チャン氏は最後に「今後、世界経済の重心は西と東にも移動し続けるだろう。中国の第14次5カ年計画における香港のユニークな位置づけと、大湾区の建設発展は、香港の経済成長に新たな刺激を与えることになるでしょう。香港と中国本土がお互いの強みを補い合い、相乗的に発展していくことができれば、香港産業や香港に拠点を置く海外企業に無限のビジネスチャンスをもたらすことは間違いありません。香港は、今後も中国の国際的な循環の重要なポイントとして機能するだけでなく、大湾区を通じて中国の経済の内部循環を利用することができるようになり、発展の余地がより大きくなります。」

「香港政府は、香港及び海外の企業がこれらの新しいチャンスをつかみ、香港経済をより付加価値の高い発展へと導くために、制度や政策の革新に努めていきます。我々は、香港の企業、一般市民、国際投資家が、発展の全体的な方向性をよりよく理解することで、新たな機会をつかみ、発展の成果を共有できることを願っています。」とまとめました。

【初の年次多国籍企業投資広東会議、広州市で開催】



9月27日から29日に初の年次多国籍企業投資広東会議が広州市で開催されました。会議では「世界フォーチュン・グローバル500企業の広東省投資に関する調査報告書」、「多国籍企業地域本部設置を奨励するための広東省の措置（改訂版）」、「20の戦略的産業クラスターの投資促進マップ」が正式に発表され、広東省のグローバル投資誘致アドバイザー第一陣に対し任命書が授与されました。

広東省商務局のデータによると、2020年12月時点で、350の世界フォーチュン・グローバル500企業が広東省に投資し、事業を行っています。広東省に投資している企業数は2,416社に達し、登録資本金金額の累計は1,807億米ドルを超えています（2019年と2020年のフォーチュン500企業のリストに基づく）。

多国籍企業統括本部の識別基準を最適化

会議は3日間にわたって開催され、オンラインとオフラインのハイブリッド方式にて、合計24のネットワーキングイベントが行われました。これまでに、シーメンス、パナソニック、ゼネラル・エレクトリック、エクソンモービル、プロクター・アンド・ギャンブル、現代自動車、ジョンソン・エンド・ジョンソン、三菱商事、サノフィなどフォーチュン500企業を含む日本、韓国、米国、英国、ドイツなど16の国と地域から200以上の多国籍企業・団体、300人以上の参加者が参加し、中国からは副社長クラス以上の企業代表者が70人以上参加しました。

広東省は、フォーチュン500企業が中国に進出する際の主要な投資先となっています。また、今回の年次会議では、「世界フォーチュン・グローバル500企業の広東省投資に関する調査報告書」を発表し、世界フォーチュン500企業の広東省への投資の特徴や発展傾向、広東省の経済・社会発展への貢献度などを詳しく分析しています。

「北京、上海などの地域では、多国籍企業による地域統括本部の設立をサポートする政策が次々と発行、改訂されています。新たな対外開放の状況に対応し、国際基準に沿った認定基準と強力な支援策を策定することにより、多くの多国籍企業を引き付け地域統括本部が設置されていきました。統括本部の数は急速に増加し、統括本部産業の推進効果は徐々にあらわれてきました。」と広東省商務局の党指導グループメンバーであり、副局長である陳越華氏は、記者会見でこう述べました。

広東省商務局は、関係者への広範な意見募集に基づき「多国籍企業地域本部設置を奨励するための広東省の措置（改訂版）」（以下「新措置」）を改訂・発行し、今回の年次会議で正式に発表しました。

陳越華氏によると、新措置では多国籍企業地域本部の認定基準最適化を第一に考え、参入基準のさらなる緩和を進めていきます。例えば、地域本部の親会社の総資産要件の2億米ドルへの緩和、本部型機関の親会社の総資産要件の1億米ドルへの設定、実際払込登録資本金金額と管理下におく企業数の要件は廃止され、統括本部が独資企業でなければならないという制限もなくなりました。

それと同時に、政策によりインセンティブ支援を強化しており、多国籍企業地域統括本部の機能集中とその能力向上のために、政府特別資金によるインセンティブ、科学技術の研究開発方面により実質的なサポートを提供することに重点をおきます。

例えば、認定された多国籍企業地域統括本部の年間の実際外資投資額が1,000万米ドルを超える場合、広東省財務部はその年の実際外資国投資額の2%、最大1億人民元の奨励金を与えます。

省への財政年度における貢献額が初めて1億人民元を超えた場合、その年度の年間貢献額の30%を、財務部が一回限りの奨励金として支給します。

また、今回の新措置は、広東省の特徴をよく表しています。例えば、統括本部機能を持つ法人の認定という点においては「サプライチェーン」が統括本部型法人の機能として含まれており、ここに当地の製造業の発展が強調されています。

多国籍企業地域統括本部を、手順に従い省長が多国籍企業と連絡するためのスルードレイン（直通車）のしくみに含めること、及び多国籍企業地域統括本部の上級管理職やその他の人材を「優粵カード」のサービス対象に含めることによりカード所有者とその配偶者、未成年の子女は地元住民と同等の待遇を受けることができるなど、広東省独自の優遇・支援策が用意されています。

今年の1月から8月まで、広東省の外資利用実績は約1,180億人民元で、前年同期比14.3%増、2年間の平均成長率は7.1%であり、そのうちサービス業への

外資導入実績は前年同期比 18.1%増の 961.5 億人民元、ハイテク産業への外資導入実績は前年同期比 62.2%増の 328.1 億人民元、外資導入額が 1 億米ドル以上の大型プロジェクトは 41 件で、実際導入額は前年同期比 32.3%増の 104.8 億米ドルとなった、と陳越華氏は紹介しました。

次に、産業チェーン投資プロジェクトのさらなる実施、投資誘致メカニズムのさらなる革新、先進国向け産業クラスターへの投資誘致の強化のために、広東省商務局は、国内外の経済・ビジネス界の著名人 22 名を「広東省グローバル投資誘致アドバイザー」として招聘し、今回の年次会議においてライセンスの授与式が行われ、任命書が発行されました。

広東省では、製造業、特に「雙十」*と呼ばれる産業クラスターの発展を促進することに重点を置き、投資環境を促進する手段の革新により「一業界一マップ」「産業政策一マップ」「投資要素一マップ」の要件に基づいて、3つのカテゴリーのビジュアル投資誘致マップを設計・作成し、企業が広東省に投資する際の明確なガイドラインを提供します。

*新素材産業や生物医学および健康産業などを含む広東省政府が重点を置いている 10 の戦略的柱産業クラスターと 10 の戦略的新興産業クラスターのことを指す。

【参考資料】

- [Business environment report published](#)

「ビジネス環境レポート：香港には無限のチャンスあり」

- [HKSAR Government publishes "Report on Hong Kong's Business Environment: A Place with Unique Advantages and Unlimited Opportunities"](#)

「香港特区政府、ビジネス環境レポートを発表」

- [初の年次多国籍企業投資広東会議、広州市で開催](#)